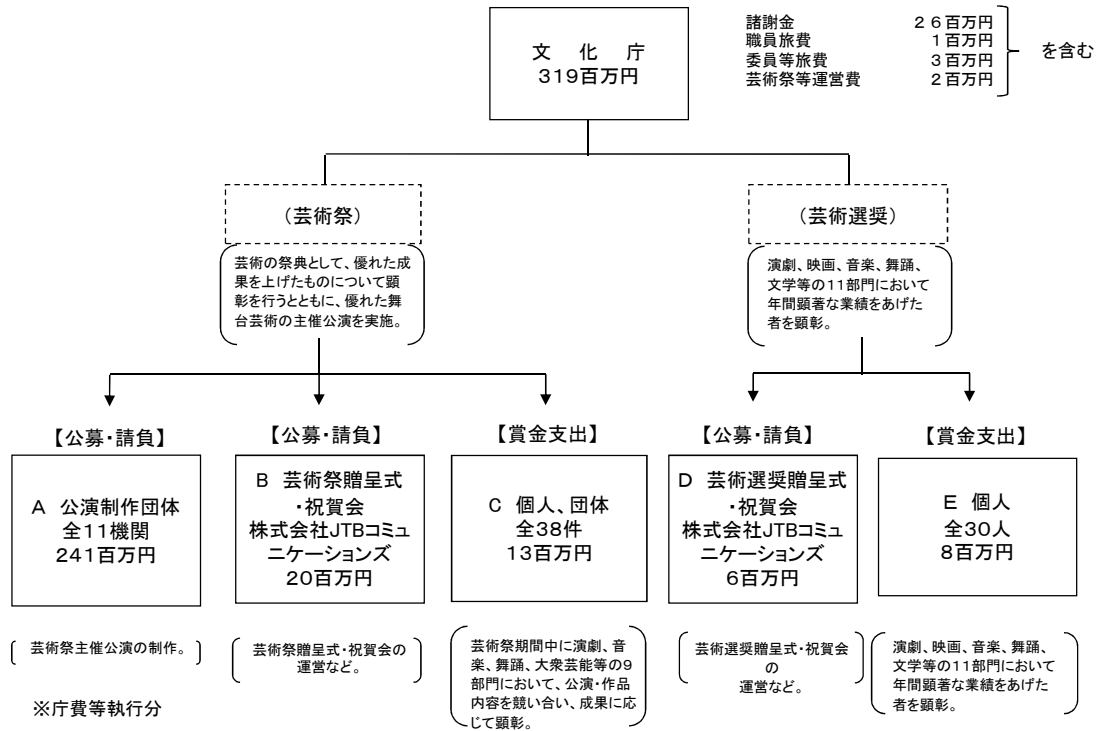


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	芸術祭・芸術選奨	担当部局庁	文化庁	作成責任者										
事業開始・終了(予定)年度	昭和21年度～終了年度未定	担当課室	文化部芸術文化課	芸術文化課長 舟橋 徹										
会計区分	一般会計	政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-1 芸術文化の振興											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第8条	関係する計画、 通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)											
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	優れた成果を上げた公演・芸術家等を顕彰するとともに、優れた舞台芸術の主催公演を実施することで芸術活動の奨励と振興に資する。													
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	①芸術祭(昭和21年度開始)⇒芸術の祭典として、舞台芸術の参加公演及び放送・レコード等の参加作品を募集し、優れた成果を上げたものについて顕彰を行うとともに、芸術の創造とその発展を図るため、音楽、演劇等の優れた舞台芸術の主催公演を実施する。 ②芸術選奨(昭和25年度開始)⇒演劇、映画、音楽、舞踊、文学、美術、放送、大衆芸能、芸術振興、評論等、メディア芸術の11部門において年間顕著な業績をあげた者を顕彰する。													
実施方法	■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他													
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求							
		補正予算	381	344	338	341	340							
		繰越し等	-	-	△ 1	-								
		計	-	-	-	-								
	執行額		381	344	337	341	340							
	執行率 (%)		354	338	319									
			92.9%	98.3%	94.7%									
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)					
	芸術水準の向上を定量的に指標化することは非常に困難である。 【参考指標】 芸術祭参加公演・作品申込数			成果実績	件	362	361	366						
				達成度	%									
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込					
	芸術祭参加公演・作品参加数			活動実績 (当初見込み)		266	268 (279)	270 (271)	— (271)					
単位当たり コスト	芸術祭主催公演の制作 21.8(百万円／1事業あたり) 贈賞 0.31(百万円／1件あたり)			算出根拠	芸術祭主催公演の実施 平成24年度実績額 240百万円／主催公演実績 11事業 贈賞 平成24年度実績額 21百万円／贈賞実績 68件									
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費 目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由										
	諸謝金	31 百万円	31 百万円											
	芸能賞金	23 百万円	23 百万円											
	職員旅費	1 百万円	1 百万円											
	委員等旅費	3 百万円	3 百万円											
	芸術祭等運営費	283 百万円	283 百万円											
	計	341 百万円	340 百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない										

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	平成23年度に参加公演・作品の募集の是非について検討したところ、芸術各分野をはじめとする各方面から国が実施すべきとの強い声により実施したところであり、広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	・支出先(委託者)の選定は、競争性を確保するため、公募による企画競争により実施。応募があった者について、外部有識者等で構成する選定委員会により、選定を行っている。 ・主催公演にあっては、入場料をとっており受益者との負担関係は妥当である。 ・コスト削減については、芸術祭の手引きのペーパーレス化や主催公演の節減により、執行額を削減している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	参加型の顕彰については、他に実施されておらず、実効性が高い。参加公演・作品数について、平成24年度においては、当初見込みを下回ったものの平成23年度の実績を上回っており、概ね達成されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	芸術祭は、参加公演・参加作品を募集するための募集チラシを各種支援事業採択団体へ送付し、広報効果を高めており、適切に事業を実施している。なお、芸術分野において、本事業を実施する意義は非常に大きいことから、今後とも適切に事業を実施していく必要があるが、平成27年度において、70回を迎えることもあり、より時代にあった芸術祭のあり方について、今年度から検討を開始する予定である。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	1. 事業評価の観点:本事業は、我が国の舞台芸術、放送、レコード等の媒体芸術の水準向上と普及に資することを目的に祝典や公演の実施、贈賞等を実施するものであり、長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所 見:昭和21年度(芸術選奨は昭和25年度)から実施しているところ、他に類を見ない芸術分野の参加型顕彰事業として引き続き国が実施する必要性が認められる。また、これまでも効率的な事業実施を図ってきており、現段階において特に見直すべき事由も見受けられないことから、今年度開始の検討結果について今後の事業内容に適宜反映するよう留意をしつつ、当面は現行の事業内容を維持すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
○文化庁HPIにおける本事業のURL 【芸術祭】 http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/01geijutsusai/ 【芸術選奨】 http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/01geijutsuka/sensho/						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0462	平成23年	0368	平成24年	0396

※平成24年度実績を記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

「表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない」

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.財団法人新国立劇場運営財団			E.個人		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	出演、音楽、文芸費	オーケストラ料、歌手料、指揮者料、著作権使用料、演出料等	127	芸能賞金	芸術選奨に係る賞金	0.3
	舞台費、運搬費	大道具費、衣装費、運搬費等	38			
	謝金、旅費、宣伝費等	航空券代、宿泊費、通訳謝金、新聞・雑誌広告費、印刷費等	21			
	計	上記金額のうち右記の経費を支出	85	計		0.3
	B.株式会社JTBコミュニケーションズ			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	会場費、会場設営費、審査会運営費、トロフィー作成等	15			
	人件費	運営スタッフ費	3			
	一般管理費	上記経費の10%	2			
	計		20	計		0
	C.個人			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	芸能賞金	芸術祭大賞に係る賞金	0.6			
	計		0.6	計		0
	D.株式会社JTBコミュニケーションズ			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	会場費、会場設営費、運営費、賞状等作成費等	4			
	人件費	運営スタッフ費	2			
	一般管理費	上記経費の10%	0.5			
		※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				
	計		6	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人新国立劇場運営財団	現代舞台芸術 オペラ公演	85	企画競争	－
2	社団法人日本オーケストラ連盟	現代舞台芸術公演アジアオーケストラウィーク	73	企画競争	－
3	財団法人新国立劇場運営財団	現代舞台芸術公演 バレエ公演	42	企画競争	－
4	財団法人新国立劇場運営財団	現代舞台芸術公演 演劇公演	15	企画競争	－
5	独立行政法人 日本芸術文化振興会	オープニング公演	11	企画競争	－
6	独立行政法人 日本芸術文化振興会	伝統芸能公演 歌舞伎公演	10	企画競争	－
7	独立行政法人 日本芸術文化振興会	伝統芸能公演 邦舞公演	2.5	企画競争	－
8	独立行政法人 日本芸術文化振興会	伝統芸能公演アジア・太平洋地域公演	1.7	企画競争	－
9	独立行政法人 日本芸術文化振興会	伝統芸能公演 能楽公演	0.7	企画競争	－
10	独立行政法人 日本芸術文化振興会	伝統芸能公演 大衆芸能公演	0.2	企画競争	－

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社JTBコミュニケーションズ	芸術祭賞贈呈式及び祝賀会の運営業務等	20	企画競争	－

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	芸能賞金	0.6		
2	個人B	芸能賞金	0.6		
3	個人C	芸能賞金	0.6		
4	個人D	芸能賞金	0.6		
5	個人E	芸能賞金	0.6		
6	個人F	芸能賞金	0.6		
7	個人G	芸能賞金	0.6		
8	個人H	芸能賞金	0.6		
9	個人I	芸能賞金	0.6		
10	個人J	芸能賞金	0.6		

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社JTBコミュニケーションズ	芸術選奨贈呈式及び祝賀会の運営業務	6	企画競争	－

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	芸能賞金	0.3		
2	個人B	芸能賞金	0.3		
3	個人C	芸能賞金	0.3		
4	個人D	芸能賞金	0.3		
5	個人E	芸能賞金	0.3		
6	個人F	芸能賞金	0.3		
7	個人G	芸能賞金	0.3		
8	個人H	芸能賞金	0.3		
9	個人I	芸能賞金	0.3		
10	個人J	芸能賞金	0.3		